

CDI 中国「大健康」月報

(第 18 号: 2024 年 11 月 21 日~2024 年 12 月 20 日)

中国における「大健康」産業とは、医療を中核として、健康食品・サプリメントや健康診断・生活指導から、リハビリ、高齢者向け商品・サービス、スポーツ・レジャーまで、生老病死に関わる広範な領域を対象にした概念を指す。CDI 中国「大健康」月報では、「大健康」産業における日本・中国間の交流促進に資する情報を毎月提供していく。一助となれば幸いである。

値段交渉について

医薬品の集中購買動向について

24 省連盟で 5 種類の消耗品の集中購買を開始

甘肅省公共資源取引センターは通知を発表し、24 の省が連盟で、外周血管介入用マイクロカテーテル、マイクロワイヤ、ゼラチンスポンジ、塞栓剤、塞栓微球の 5 種類の医療消耗品を集中購買することを発表した。

12 月 19 日より、7 種類の医療器材が値下がる

福建省医療保障局は通知を発表し、12 月 19 日から第 5 回医療消耗材集中調達の結果を実施すると宣言した。対象には輸液ポート、CVC 中心静脈カテーテル、PICC 中心静脈カテーテル、造影カテーテル、造影ワイヤー、血管鞘、血管止血デバイスなど 7 種類の器材が含まれる。これらはすべて汎用的な介入用器材に分類され、以前の省級連盟調達で値下げされていた。

今回の中選結果は 12 月 12 日に福建省医療保障情報プラットフォームで公開され、12 月 19 日から正式に施行され、集中調達期間は 2 年間である。最近、介入分野での集中購買が頻繁に行われ、河北省、安徽省、甘肅省などでも血管介入用医療器材に関する集中購買通知が発表された。人口の高齢化が進む中、心血管疾患の罹患率が増加しており、介入器材の需要が高まっている。集団調達の全面的な推進はこの分野に重大な影響を与える可能性がある。

指定薬局がオンライン調達へ、「省プラットフォーム以外での調達は保険が清算されない」、河北省が来年 1 月 1 日から正式施行

河北省医療保障局は通知を発表し、2025 年 1 月 1 日より、保険指定医療機関および小売薬局が省薬品集中調達プラットフォームを通じて薬品を調達しなければ、医療保険基金による清算を行わないと規定した。

将来的に、医療保険資金を使用する薬品については、指定薬局が省プラットフォームで ID を登録し、専用口座を開設して調達し、無利益販売を行う。省局は医療保険の統一情報プラットフォームを活用し、医療保険清算薬品の詳細と省薬品集中調達プラットフォームでの調達記録の照合検証機構を開発し、薬品調達行為の規範化と基金の安全を保障する。

医療分野における統制・コンプライアンス強化

国家医療保険局:CT、X線の料金新規則が適用へ

国家医療保険局は最近、放射線検査の医療サービス料金に関する新しいガイドライン（試行）を発表した。この新規則は、「一般市民からの「検査が多い」「検査が高い」「検査が重複している」といった問題に対応することを目的としている。

新しい規則では、現在の放射線検査項目を統一し、CTやX線などの放射線検査の料金を透明かつ合理的にすることが定められている。ガイドラインには、デジタル画像処理やアップロード、クラウドストレージの料金が含まれ、検査結果をクラウドにアップロードして患者や医療機関がアクセスできるようにする。さらに、フィルムはプロジェクト料金から外され、患者が必要に応じて購入できるようになり、差額なしで販売される。

技術費分離費用請求は停止

内モンゴル自治区フフホト市医療保険局は通知を発表し、部分的な腎機能および心筋酵素検査の医療サービス料金を調整し、技術費分離徴収を廃止し、従来の料金徴収方式に戻すことを発表した。この調整には、25項目の腎機能と心筋酵素検査の料金が含まれており、料金を「プロジェクト価格＋集中購買試薬の選定価格」の方式で引き下げることが決まった。同時に、26項目の肝機能検査の料金徴収方式も調整され、検査試薬は単独で料金を徴収しないことになった。この通知は、民間医療機関や第三者検査機関にも、公立医療機関の検査料金を参考にしよう呼びかけ、医療機関の価格行動を規制する。

中央テレビの医学会の調査結果

中央テレビのニュースは医学会を調査し、中華口腔医学会の会員資格審査が形だけであり、記者が仮の身分で会員証を取得することができたことを暴露した。この事件は広く注目を集め、口腔医療業界の専門性と権威に疑問を投げかけた。民政部の社会組織管理局は、中華口腔医学会に対して、登録された会員の入会資格を厳格に再審査し、改善措置を取るよう命じた。

WeChatグループでOTC薬の違法販売が発覚

最近、高額な非処方薬や健康食品がWeChatグループで高齢者に対して売られていることが報告された。これらのWeChatグループは「無料の公益講座」の名目で高齢者を引きつけ、養生方法を共有したり、製品の効能を誇張したりして、高額消費を促していた。関連当局は監視を強化し、高齢者が不正な業者に騙されないようにし、消費者の権利を守る必要がある。

病院管理

国家監査チームが病院に入り、特別な飛行検査を実施

国家監査チームは病院に特別な飛行検査を行い、病院の管理とサービスの規範性を確保する。飛行検査の内容には、医療の質、安全管理、薬品や消耗品の使用などが含まれており、医療サービスの質の向上と患者の権利の保護を目的としている。

10 億投資、初の外資独資の三級総合病院が登場

中国で初めて外資（シンガポール系の企業）独資による天津にある三級総合病院が、10 億元を投資して開設され、これは中国の医療市場における外資投資の更なる開放を示すものとなる。

公立病院の設備購入に関する 27.96 億の資金投入

中国中央政府が、各省に分けて、合計 27.96 億元を病院の設備購入に投入し、病院の設備レベルを向上させ、医療サービスの質を改善することで、患者のニーズに対応することができるようになる。



医薬品

資金調達の動向

2024 年 11 月、中国では 22 件の資金調達が発生した。薬物の種類から見ると、主に以下が含まれる：細胞および遺伝子療法、抗体薬物複合体 (ADC)、融合タンパク質、合成致死療法、タンパク質分解療法、二重特異性抗体、外泌体。

安济盛生物が 1.2 億ドルの C ラウンド資金調達を完了

安济盛生物 (ANGITIA) は、1.2 億ドルの C ラウンド資金調達を完了し、Bain Capital Life Sciences がリードインベスターとなった。この資金は、骨、関節、筋肉の重症疾患に対する治療薬の開発に使用される。

8 社の革新薬企業の新たな資金調達のうち、2 社は中国企業

世界で少なくとも 8 社の革新薬研究開発企業が新たな資金調達を完了した。そのうち 2 社は中国の企業であり、がんや神経系疾患を対象にした新しい治療法の開発に取り組んでいる。

エーザイの痛風治療薬「Dotinurad (ドチヌラド)」が中国で承認

エーザイは新型の尿酸塩再吸収抑制薬「Dotinurad (ドチヌラド)」が中国で承認されたことを発表した。この薬は痛風を伴う高尿酸血症の治療に使用され、URAT1 を選択的に抑制することによって血中の尿酸値を低下させる。

サノフィ: 10 億ユーロを投資し北京にインスリン生産拠点を設立

サノフィは、10 億ユーロを投資して北京にインスリン生産拠点を設立することを発表した。これにより、中国市場におけるインスリンの需要に対応し、グローバルなインスリン市場での地位を強化する。

イーライリリーのアルツハイマー病治療薬「記能達」が中国で承認

イーライリリー社のアルツハイマー病治療薬「記能達」が中国で承認され、患者に新たな治療選択肢を提供することとなった。

第一三共は、上海拠点への投資を発表

日系製薬企業、第一三共は上海張江エリアに約 11 億元を投資し、抗体薬物偶合体 (ADC) の新たな生産施設を建設する計画を発表した。このプロジェクトには生産施設、研究開発ラボ、品質管理センターが含まれ、ADC 薬物の開発と生産ニーズに対応する。2030 年には稼働予定で、第一三共の中国での長期的な発展への自信を示している。

九州通の国際サプライチェーンプロジェクトが上海外高橋エリアに設立

九州通医薬グループは外高橋グループの新開発会社と契約し、外高橋に国際サプライチェーンプロジェクトを設立した。九州通は国内最大の民間医薬流通企業で、事業はデジタル医薬分配、ブランドプロモーション、医薬工業の自社生産など、六つの分野をカバーしている。このプロジェクトは、世界中の顧客に薬品や医療機器の調達、保管、物流サービスを提供することを目的としている。

第 3 四半期、約 1 万の薬局が閉店、生き残りをかけた競争が激化

第 3 四半期に全国で 9545 軒の薬局が閉店し、新規開店の数が減少した。零售薬局業界の規模拡大の転換点が近づいており、多くの製薬企業や薬局チェーンは高齢者市場に注目して生き残りをかけた戦いを繰り広げている。

複数の地域が定点薬局の新設制限を発表

黒龍江省医保局は、空白地域での定点薬局の設立を促進し、定点薬局の配置や密度の最適化を求める意見を発表した。複数の地域でも定点薬局のリソース配置の最適化と監視強化に関する文書が発表された。

医療機器

コクレア、新しい中国の骨伝導技術の基準を発表

コクレアは、Baha™ 6 Max 音声処理装置を発表した。これは中国の骨伝導技術の新しい基準となる製品で、最大 55dB の適合範囲を持ち、小型で、スマートデバイスとの直結型伝送が可能。明瞭で豊かで自然な音を提供し、伝導性および混合型難聴の患者のニーズに応えている。

国産プロトン治療システム、NMPA のイノベーション通路に入る

中科イオンが独自に開発したプロトン治療システムは、国家薬品监督管理局 (NMPA) によりイノベーション医療機器特別審査申請結果として公示され、NMPA のイノベシ

オン通路に入りました。これは中科イオンにとって、2 番目に認定された医療機器で、1 番目はプラズマ皮膚治療装置。NMPA の「イノベーション医療機器特別審査手続き」は、国内の核心技術発明特許や国内初の技術原理、国際的に優れた技術レベル、そして臨床応用価値が顕著な医療機器を優先的に審査し、医療機器の研究と革新を促進することを目的としている。

18 件の医療機器がイノベーション承認へ

2024 年 11 月、全国で 18 件の医療機器がイノベーション承認通路に入り、うち 15 件は国産登録製品、3 件は輸入製品。これらの製品は器械と試薬の 2 つのカテゴリーにまたがり、複数の省と都市で展開されている。特に江蘇省が 4 件で登録数 1 位となっており、このデータは中国の医療機器業界のイノベーション力と規制機関による革新製品への支援を反映している。

大きなサイズのコンタクトレンズ、眼科の新しいヒット商品登場

巩膜鏡(下の画像をご参照)は、大径の硬質透湿性コンタクトレンズとして、国内市場で急速に注目を集めている。2023 年に初めての輸入品および国産品が NMPA に承認され、現在国内では 5 つの製品が市場に登場している。巩膜鏡は角膜には直接接触せず、巩膜上の結膜組織に着地して液層を形成し視力を矯正するもので、特に不規則乱視の矯正に適している。直径は 14.5mm から 18mm が一般的で、一部の製品は 20mm 以上に達し、「超大号コンタクトレンズ」とも呼ばれる。巩膜鏡の単価は 1 万を超えるが、特定の眼病患者にとっては不可欠な製品であり、市場のポテンシャルは非常に大きい。



健康食品・サプリメント

天猫健康が、下記の 3 つの産業に資金投入

天猫健康は億単位の資金を投入し、青少年栄養、越境ブランドの大規模貿易、ブルーハット(認証済み)保健食品という 3 つの産業に注力する。健康エコシステムを構築し、商業者の確実な成長を支援する。

急成長している睡眠問題分野と「三高」対策の製品

睡眠健康問題はますます注目され、市場規模が拡大している。2023 年、中国の睡眠経済業界の市場規模は 4955.8 億元に達し、2027 年には 6586.8 億元に達すると予測されている。睡眠製品企業は不眠症などの問題に対して多くのターゲットを絞った製品やサービスを提供している。

中国の高齢化が進む中、高齢者の慢性疾患人口が増加しており、特に糖尿病などの“三高”疾患(高血圧、高血糖、高脂血症)患者数は千万を超えている。そのため、栄養主食の需要が高まっている。国内企業は発芽玄米や高抵抗性デンプン米など、栄養機能米に注目し、健康的な主食ニーズに応えている。2025 年までに、世界の精密栄養市場は 115 億ドルに達すると予測されており、国内の機能性米市場は千億規模の潜在力を持ち、各ブランドが新たな成長の突破口を追い求めている。

大衆口腔は、香港上場へ



大衆口腔(左側の画像をご参照、本社は湖北省武漢市)は、高コストパフォーマンスのサービスの特徴として、香港証券取引所に上場申請書を提出し、香港株式市場に上場を予定している。会社は中国中部に81の店舗を持ち、病院、診療所、クリニックを運営している。大衆口腔は低価格戦略で患者を引き寄せており、例えばインプラント1本が2000元(約40,000円)未満、根管治療が1本300元(約6,000円)、充填サービスが200元(約4,000円)で提供されている。経営圧力がある中でも、大衆口腔は依然として低料金を維持しており、業界の平均水準を大きく下回る価格を実現し、口腔医療分野での競争力を示している。

養老産業(シルバー産業や介護)

第五回中国の都市と農村の高齢者生活状況サンプリング調査結果

第五回中国の都市と農村の高齢者生活状況サンプリング調査結果が発表され、全国の高齢者人口の性別比率は93.42で、都市部の高齢者が54.0%、農村部の高齢者が46.0%を占めている。高齢者の自評価による健康状態が良好である割合は42.7%、慢性疾患があると報告した高齢者は80.0%で、その中で高血圧、腰椎症、関節炎が最も多い慢性疾患であった。高齢者の98.5%が各種医療保障を受けており、そのうち75.2%は都市・農村の住民基本医療保険に加入している。

高齢者認知障害研究と多学科治療サミット、開催

2024年の高齢者認知障害研究と多学科治療サミットは、神経調整とAI技術が高齢者のアルツハイマー病治療にどのように新しい方向を示すかに焦点を当てて開催される。この会議では、高齢者の精神神経疾患が直面する課題と革新的な解決策について議論され、神経調整技術がアルツハイマー病を含む高齢者疾患の症状改善における可能性が強調された。また、精神科の複雑で治療困難な疾患を重点的に治療する神経調整治療センターの設立が発表され、AI技術が認知訓練の介入手段として活用される可能性についても探求された。

以上

日本語校閲：外山 一成(CDI 日本)

お問い合わせ先:

■ 嚴 偉 (CDI 上海オフィス)

□ Email: yan@cdi-china.com

Mobile: +86-183-2198-1922

■ 崔 浩 (CDI 上海オフィス)

□ Email: hao.cui@cdi-china.com Mobile: +86-188-1736-2183

コーポレートディレクション 上海オフィス

コーポレートディレクション(CDI)は、1986年に米系コンサルティングファームBCGから10名が独立して設立した、日本初の独立系戦略コンサルティングファーム。2008年上海オフィス設立を皮切りに、現在ではアジア5箇所に現地拠点を有する。

上海オフィスでは、主に日本企業の中国参入戦略立案、戦略再構築、及び実行に伴う組織業務改革、中国企業との提携支援等を提供。一方で、中国企業をクライアントとした日系企業との提携支援も行っている。